

令和6年度第2回袖ヶ浦市文化財審議会

1 開催日 令和6年8月8日(木) 13:25~15:30

2 開催場所 袖ヶ浦市郷土博物館研修室

3 出席委員

会長	山田 常雄	委員	笹生 衛
副会長	成田 篤彦	委員	濱名 徳順
委員	高橋 克	委員	實形 裕介

(欠席委員)

委員	野尻 孝明		
----	-------	--	--

4 出席職員

教育長	鴫田 道雄	副主査	石井 祐樹
生涯学習課長	重田 克己	学芸員	鎌田 望里
班 長	田中 大介	学芸員	助川 諒
主 査	前田 雅之		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 議題

- (1) 指定文化財候補について(永吉台遺跡群出土の文字資料群及び関連資料)
- (2) 市指定文化財かしま人形の現状について
- (3) 国史跡山野貝塚の発掘調査について

7 報告

- (1) 市指定文化財候補について(光福寺の仏像)
- (2) 市内民俗行事の実施について
- (3) その他

8 議事等

議題（1）指定文化財候補について（永吉台遺跡群出土の文字資料群及び関連資料）

事務局：資料に沿って説明

笹生委員：指定名称を再度確認するが、「永吉台遺跡群出土の古代文字および信仰関連資料群」とした。宗教は多様な内容が含まれておりイメージしにくいので信仰に変更した。また、資料群という文字が何度も出てくるので、古代文字と信仰という文言を受けた関連資料群でまとめた。古代文字の関係で、例えば1ページの1の石製の丸鞆（まるとも）や2ページの13の青銅製の巡方（じゅんぼう）などの役人の帯金具は識字層を示す資料と考えてよいのではないか。2ページの22は硯で、1ページの8の温石（おんじゃく）は仏教の医療用具として使われていた可能性があるため、信仰に含まれるかと思う。5ページ49の薬壺（やっこ）は仏具でありこのあたりも入れてよいと思う。また、4ページの48の土器には目が描かれており信仰関係の遺物と考えられる。そういう意味で、宗教よりも信仰の方が広くカバーでき、呪術的要素、仏教的要素が含まれているということで、信仰という形で一括してよいかと思われる。

山田会長：前回から除いた資料はあるのか。

笹生委員：九字としたおろし金のような線描きの井桁等が描かれた資料については、今回は外した。ただし、8ページ102のように墨書で書かれた「井」については墨書なので対象として含めた。

山田会長：笹生委員に名称と資料をまとめてもらったが、ご意見はあるか。おさまりが大分よくなったと思われる。

濱名委員：よいまとめ方だと思う。

高橋委員：信仰という言葉がよいと思う。

（資料実見）

事務局：資料の並べ順について、現在は出土遺構順に並べているが、種別ごとに並べる方がよいのか意見を伺いたい。

笹生委員：種類ごとに並べ替えるとなると、また議論が必要になってくる。資料の点数が多く管理しやすい方がよいので、報告書を台帳にしてこのままでもよいと思われる。

山田会長：検索しやすい方がよいのではないか。展示する際はこの中から抽出して展示すればよいのではないか。

「永吉台遺跡群出土の古代文字および信仰関連資料群」として指定に向けていく方向で問題ないか。特に意見がなければ、事務局で指定に向けて進めてもらいたい。

議題（2）市指定文化財かしま人形の現状について

事務局：資料に沿って説明、記録映像の映写

山田会長：12月の役員会で今の映像を見せたらよいのではないか。来年度、是非再開してもらい、現地で見学するか学校で開催してもらおうなどしてもらえればありがたい。

高橋委員：対応してくれた内容でよいと思う。ただし、残せ、残せとは言わない方がよ

い。民俗は消えてく部分があっても、それは容認していくべきだと思っている。変化していくことを容認しており、消えていくことも変化である。新しい道具を使って続けていくことも変化であり、消えていくことも変化である。その土地柄や産業の形態、住民の様子等により変化していくものである。どのような理由でなくなっていったかを把握していればよいのではないか。あまり残せ残せという反感を買ってしまう可能性がある。

成田委員：君津地区でもやっているということであるが、君津と袖ヶ浦の関係はどのように考えているのか。

事務局：小櫃川上流の松丘から中流域の久留里に下ってきており、現在も行われているのが阿部地区である。以前は阿部地区に隣接する大竹や堂谷でも行われていたと言われている。これらは久留里藩の領域と重なってくるので何らかの文化的なつながりがあったのではないかと想像している。

成田委員：君津地区では現在も行われているのか。

事務局：3地区ほどで行われている。

山田会長：久留里城址資料館に確認してみるとわかるだろう。

笹生委員：かしま人形は江戸期の記録にも出てくるということで重要である。本日見させてもらった動画もよいが、鮮明なものを記録として残した方がよい。区民のモチベーションが落ちているという意見があったが、モチベーションが落ちるとすることは当然で、江戸時代にはこれを行わないと疫病になるなどの強迫観念があって行っている。また集まって直会を行うことがモチベーションになっていたと思われる。現在は、強迫観念も楽しみもなくなって行われなくなってしまった。学校教育とタイアップして、子どもたちの楽しみの場として記憶に残れば、昔ながらではないが変化した形で次世代に残っていくのではないか。

實形委員：前回、房総プロムナードでかしま人形の映像があったという意見があったが、千葉県文書館に映像資料として残っている。目録を確認したところ、1984年の制作で、現在DVDになっている。借用してダビングすればその時点でのきれいな映像が見られる。市として依頼すればダビングできると思われる。

山田会長：實形委員に間に入ってもらって千葉県文書館に連絡を取ってもらいたい。

議題（3）国史跡山野貝塚の発掘調査について

事務局：資料に沿って説明

笹生委員：今回の調査範囲は人骨が出ている箇所、墓域の可能性もある。もしも人骨等がまとまって出てきた場合の対応について考えておいた方がよい。事前に文化庁などと協議をしておいた方がよい。

事務局：今回の調査トレンチの幅が1mなので、まるまる人骨が出てくる可能性は低い、出てきた場合の取扱いについて事前に千葉県と文化庁とも協議しておきたい。

山田会長：人骨が出土した場合に分析してもらおう人を考えておいた方がよい。

事務局：これまでは東京大学総合研究博物館に分析を依頼していた。

報告（１）市指定文化財候補について（光福寺の仏像）

事務局：資料沿って説明
（質疑特になし）

報告（２）市内民俗行事の実施について

事務局：資料に沿って説明、飽富神社の例大祭と野田の虫送りの映像を映写

笹生委員：資料を見ると、現在の飽富神社の神輿はかなり縮小して行っていると思われるが、柳葉餅やこがしのつとのような神饌は行われていないのか。

事務局：行われていない。

笹生委員：明治に入ってすべてやめてしまっているのか。

事務局：あるいは、昭和7年にお浜降りをやめているのだが、その際なのかもしれない。

山田会長：私の小さい頃は年中行事帳にかかれた内容が行われていた。飽富神社の祭礼は8箇村で回している。来年が本祭りである。

笹生委員：中世の郷村の杵が江戸に残って、吉田神道の影響を受けてこのような祭式になって明治まで残っていたということになるだろう。ぜひ記録を残してもらいたい。

濱名委員：木更津の曾根の明和、元禄の頃の仏像を調査した際、飽富庄という銘が記載されていた。

報告（３）その他

濱名委員より、いすみ市郷土資料館企画展の紹介

濱名委員：袖ヶ浦でも機会があるかもしれないが、仏像等の修理が行われた場合、すぐにお寺にお戻しするのではなく、一度市民の皆さんに公開することにより、より文化財として認知されてくると思われる。

以上

令和6年度 第2回袖ヶ浦市文化財審議会 会議次第

日時 令和6年8月8日(木)
午後1時30分から
場所 袖ヶ浦市郷土博物館研修室

1 開会のことば

2 会長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議題

- (1) 指定文化財候補について（永吉台遺跡群出土の文字資料群及び関連資料）
- (2) 市指定文化財かしま人形の現状について
- (3) 国史跡山野貝塚の発掘調査について
- (4) その他

5 報告

- (1) 市指定文化財候補について（光福寺の仏像）
- (2) 市内民俗行事の実施について
- (3) その他

6 閉会のことば

令和6年度 第2回袖ヶ浦市文化財審議会資料

目 次

指定文化財及び市文化財審議会にかかる根拠法令	P 1
第 2 5 期袖ヶ浦市文化財審議会委員名簿	P 2

議 題

(1) 指定文化財候補について (永吉台遺跡群出土の文字資料群及び関連資料群)	P 3
(2) 市指定文化財かしま人形の現状について	P 5
(3) 国史跡山野貝塚の発掘調査について	P 7

報 告

(1) 市指定文化財候補について (光福寺の仏像)	P 14
(2) 市内民俗行事の実施について	P 15

別冊資料 議題 (1) 指定文化財候補について (永吉台遺跡群出土の文字資料群及び関連資料群)	
---	--

指定文化財及び市文化財審議会にかかる根拠法令 袖ヶ浦市文化財の保護に関する条例より抜粋

第2章 市指定文化財

(指定)

- 第4条 教育委員会は、市の区域内に存する文化財のうち重要なものを袖ヶ浦市指定文化財（以下「指定文化財」という。）に指定することができる。
- 2 前項の規定による指定をするには、教育委員会はあらかじめ指定しようとする文化財の所有者、保持者又は権原に基づく占有者（以下「所有者等」という。）の同意を得なければならない。ただし、当該文化財の所有者等が判明しない場合は、この限りでない。
- 3 第1項の規定により指定をするときは、教育委員会はあらかじめ第24条の規定により設置する袖ヶ浦市文化財審議会（以下「審議会」という。）に諮問しなければならない。
- 4 第1項の規定による指定は、その旨を告示するとともに当該文化財の所有者等に通知して行う。
- 5 第1項の規定による指定は、前項の規定による告示があった日からその効力を生ずる。
- 6 第1項の規定により指定をしたときは、教育委員会は、当該指定文化財の所有者等に指定書を交付しなければならない。

第4章 市文化財審議会

(設置)

第24条 文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に答え、又は意見を具申し及びこれらに必要な調査研究を行うため袖ヶ浦市文化財審議会を置く。

(定数及び委嘱)

第25条 審議会は、非常勤の委員7名で組織し、文化財に関する学識経験者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

第26条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第27条 審議会に会長及び副会長各1名を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

第25期 袖ヶ浦市文化財審議会委員名簿

氏 名	担当分野	備考
さそう まもる 笹生 衛	有 形 記念物	再 任 6期目
じつかた ゆうすけ 實形 裕介	有 形	初 任
たかはし まさる 高橋 克	民 俗	再 任 9期目
なりた あつひこ 成田 篤彦 (副会長)	記念物	再 任 9期目
のじり たかあき 野尻 孝明	有 形	初 任
はまな とくじゅん 濱名 徳順	有 形	再 任 2期目
やまだ つねお 山田 常雄 (会 長)	有 形 記念物	再 任 21期目

任期 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

議題(1) 指定文化財候補について(永吉台遺跡群出土の古代文字資料及び関連資料群)

令和6年5月16日に開催した令和6年度第1回文化財審議会において、指定文化財候補「永吉台遺跡群出土の文字資料及び宗教関連資料」として資料を実見いただき、ご審議いただきました。

つきましては、改めて指定名称と抽出資料についてご意見を伺うものです(別冊資料)。

1 指定名称について

前回の審議会において、「永吉台遺跡群出土の古代文字資料及び関連資料群」とし、抽出資料の再検討を行うこととなりました。

上記の名称の「関連資料群」には文字資料に関連するものと印象を受け、永吉台遺跡群を特徴づける宗教関連資料を名称に反映することが望ましいと思われる。つきましては、「永吉台遺跡群出土の古代の文字および信仰関連資料群(仮)」としたいとがよろしいかご意見伺います。

2 抽出資料の再検討について

これまでに抽出した資料は下記に記載した資料です。

文字資料：93点(墨書土器82点 ヘラ書土器10点、陶製印1点)

文字関連資料：17点(硯11点、帯飾具4点、水滴1点、温石1点)

宗教関連資料：48点(灯明皿等36点、瓦塔2点、香炉蓋2点、薬壺1点、鉢等5点、土馬2点)

なお、前回の会議において「総花的」に抽出するということで了解を得られたものと考えておりますので、幅広く資料を抽出しております。変更点としては、**宗教関連資料：レンガ状土製品**を候補資料から除外しました。

除外の理由：レンガ状土製品は寺院の部材とみられることから抽出していたが、その性格が特定しにくい。同じく寺院屋根部材の瓦については、複数の堅穴住居址で見つかっており、かまど煙道部の壁材としての転用など、出土状況より寺院の機能として使われたものではないと推定されることから、全体として候補から除外している。レンガ状土製品についても同様であることから除外とした。

他にも候補から除外・追加を検討すべき資料がございましたらご意見いただければ幸いです。

3 永吉台遺跡群の学史的な意義について

以前の会議で永吉台遺跡群の学史的な意義も踏まえる必要があるとのご意見を賜り、取りまとめた資料を確認いただきました。指定名称及び抽出資料を検討してきましたが、本学史的意義の取扱いについてご意見を伺います。

議題（２） 市指定文化財かしま人形の現状について

市指定文化財「かしま人形」は、昨年度に引き続き今年度も開催しないことが地域で決定しています。地域内の現状について、区長から聞き取りを行いましたので、行事の再開に向けた今後の方向性について、ご意見を伺うものです。

１ 現状確認

日時：令和6年7月19日（金） 午後7時30分～

場所：阿部区長自宅

・現在は刀の鑿や長刀などを作れる人が一人しかおらず、準備を頼り切っている

・コロナウイルスを契機にしばらく実施していなかったため、区民のモチベーションが下がっており、やらなくても良いのでは、という雰囲気になっている。
※開催するかどうか、年度初めの総会で決定している。

・歴史ある重要なものであるという認識は区長を含め数名が持っており、できれば開催して傳承していきたい。

・中学校でも地域学習として、かしま人形を取り上げたいと聞いているが、学校で作成体験等をやるとして、刀の鑿や長刀製作の技術保持者に頼り切ることになってしまうので難航している。

・小櫃川流域で行われるかしま人形の源流は阿部であり、久留里から見学者が来たこともある。（阿部が発祥という説の根拠は不明）

２ 明らかとなった問題点

- （１） 区民のかしま人形に対するモチベーションの低下
- （２） 特殊な道具作成の技術保持者が1名の高齢者のみ

３ 今後の方向性

モチベーションの上昇 ⇒ 行事開催 ⇒ 併せて技術傳承教室開催
⇒ 今後に備え、記録映像作成

（１）モチベーションを上げるために、かしま人形の再評価を行い、その価値を地区総会で区民に訴えかける。まずは12月の役員会で役員に話をさせていただく予定。

(2) 技術保持者が1名しかいないので、その技術を伝える技術伝承教室を区内で開催する。

(3) 今後に備え、上記技術伝承教室の様子、人形部分を製作する様子を映像記録で残す。開催が叶わなかった場合でも、技術保持者に依頼し、作成の様子を記録する。

議題(3) 国史跡山野貝塚の発掘調査について

令和6年9月より国史跡山野貝塚の発掘調査(第11次調査)を実施する予定であり、その内容について説明するので、ご意見を伺うものです。

1 近年の発掘調査について(資料1)

平成29(2017)年10月13日に国史跡に指定されてから、令和2年から令和4年度にかけて発掘調査(第8次～第10次)を実施し、過去の発掘調査及び整理作業で推定された、馬蹄形に展開する集落の外側から内側に向かって検出される遺構や出土する遺物の時期が縄文時代後期から晩期初頭にかけて、集落の構造と時期的な変遷を、連続するトレンチの断面観察等で把握するとともに、貝層堆積の内側に形成される窪地の構造を明らかにすることを目的として調査を実施しました。

令和2年から4年度の発掘調査(40T～44T)により、これまでの調査で推定されていた、馬蹄形に展開する貝層の外側から内側にかけて、検出遺構や出土遺物の時期が新しくなることを、連続するトレンチの土層断面と遺物出土状況により追認することができました。

また、窪地と貝層堆積の外側部分の下層調査における土層断面を比較した結果、窪地部分の立川ローム層の上部が消失していることが明らかとなりました。

2 令和6年度の第11次発掘調査について(資料2・3)

これまでの調査で、窪地の南北部の様相について把握することが出来ましたが、東西部については調査事例が少なく、情報が不足しています。このため令和6年度は市道以南における東西方向の窪地範囲を確認することと、10T南側ブロック塀内側の高まりの様相を確認するために発掘調査を実施し、整備における盛土範囲の情報などを得るために実施します。

市道3002号線南側に1m×25mの直線トレンチを設定し調査を実施します。

また、1m×2m幅で一部、深掘調査を併せて実施予定です。

深掘箇所は過去の調査と同様に5m³単位で土壌サンプルを採取します。

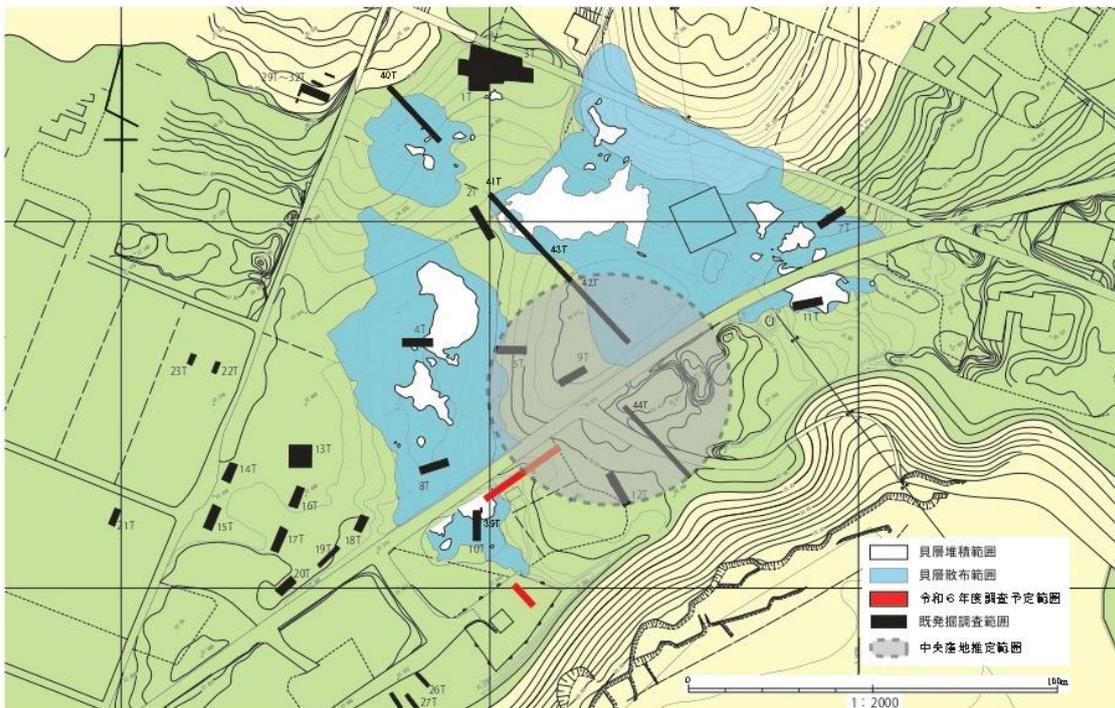
そのほか、ブロック塀が敷設されている内側箇所に1m×8mの直線トレンチを設定し調査を実施します。

3 発掘調査の日程について

令和6年度の第11次発掘調査は、9月より調査を開始予定で、11月初旬までには終了を予定しております。

なお、市民向けに山野貝塚現地説明会を10月19日(土)【雨天時は20日】に開催を予定しております。

また、今年度発掘調査の報告書刊行は令和7年度に予定しております。





1m×25m掘削候補地(西→)①



1m×25m掘削候補地(南→)②



1m×25m掘削候補地(西→)③



1 m×8 m掘削候補地(南→)①



1 m×8 m掘削候補地(北→)②

報告（１）市指定文化財候補について（光福寺の仏像）

令和6年5月16日に開催した令和6年度第1回文化財審議会において、光福寺の千手観音菩薩立像が平安後期に制作されたという鑑定結果であったが、これまで市内に平安時代に制作された仏像がないことから、万全を期して他の専門家の方にも鑑定してもらった方がよいという意見をいただきました。

については、濱名委員に他に鑑定できる方を紹介していただき、後日鑑定していただけることになったので、報告するものです。

1 鑑定依頼者

山本 勉 先生（鎌倉国宝館館長、半蔵門ミュージアム館長）

2 鑑定予定日

令和6年8月27日（火）午前中

報告（２）市内民俗行事に実施について（飽富神社祭礼）

令和５年、指定文化財となった「飽富神社唯一社頭年中行事帳」に掲載され、形を変えながら、現在も行われている「祭礼」が今年も実施されたので、その内容を報告するものです。

飽富神社唯一社頭年中行事帳より抜粋

早天に宮をひらき神前ニ燈明ニみこしのまへに二ツ
 中臣祓一座六根祓一座三種祓三十六反
 大こをうつなり
 △上物 柳葉餅七十五枚神主方上ル
 毎年圖書方よりならわ村へ行て、鯨の魚十二ツ々奉る
 柳ばもち 七十五枚
 赤飯 一重
 神酒 壺樽
 右之通朝五ツ時上ル、或ハ四ツ時九時まへ
 西七兵衛方より
 こがしのつと上ル、新麦の粉也、ちかやのわ
 こがしのつとハマこもにて如此あみて、中へこがしを入
 れてうへを紙にてつゝみて入ル也
 ちかやのわと云ハ、ちかやを處々ちかやニ而結へ、つき
 たてゝふたひろをわになして、二ツにおりて中ニ而ゆわへ
 るなり
 如此してみこしの井がきのうちへこがしのつとゝ一ツ
 にのせておくなり
 日中午の刻神事なり
 奉幣 神主
 取次 社人
 △中臣祓一座 社人同音
 ○神樂五座 ○幣 ○太刀 ○矛

右神樂終りて
 ○御神記ヲヨム 神主
 かしわ手二
 立揖 座（左の人が口の字）揖 祈念
 天下泰平 御武運長久 万民豊樂 五穀成就に守り、さい
 わいたまへとおそれみくモ申ス
 ○神主退下
 社人みなく御先へ出ル
 △御御輿出ル
 御神馬 二歳の馬神納方出ル、神馬の道具とて氏子
 より上ル、おんべいノ麻ハ神納神主古来よりとり来ルなり
 花沢清右衛門より柳ばもち七十五枚ツ々上ル、是ハ二の御
 やすどにてそなへ奉る、社人いたゞくなり、のこりたるを
 氏子村の若ものどもに遣スなり
 一ノおやすどハとゞめき池の上の山にあり、みこしをすへ
 奉る処あり、右のこがしのつとをゆいめをひらきて、中よ
 りこがしを少し出し、かごばらの葉二三枚ニもりて奉る、
 神哥あり、別の巻にあり、相伝也、此時に勝大明神御やす
 み所迄来り給ふ、使者馬といふ事あり、
 此本の末ニアリ
 社人つとむるなり、此方方モ社人馬上にて勝明神のところ
 へゆく、勝明神より馬上にて社人来りて礼あり、それより

双方の御輿を拜礼あり、當まづさきへ通給ふ、後に勝明神
通り給ふ旧禮なり、勝明神御休所少前二而神主馬方下り神
拝むいたし方

當社ハ南より北へ通り給ふ、勝明神ハ東より西
へ通り給ふ、御帰のせつハ勝明神通り給ふて後に當社を通
し奉る旧禮なり、両社神主挨拶（挨拶）いたし祈る也

蔵波村みたらしの上に御やすどあり、みこしをすへ奉りて
右のちかやのわをそなへ奉りて、神哥をとなへ奉る、別卷
にあり、右のちかやのわをひろげくぐる也、しづかにかし
らよりくぐるべし、くゞり終てひろぎまげてもとの如くに
して社人になたす、社人みなくゞるなり

それより二の御やすど、右花沢清右衛門方上ル柳葉をそな
へ奉る、神哥あり 別卷に有

神輿御かへりハ日暮なり、大祭礼の時ハ高てうちん御迎に
出ル、神主兼而手まへ之前へも高ちやうちんのしたく心得
有べし

御帰有て神前へむかいて神哥となへ申三反、別の卷に
あり

神宝御宝殿へ御輿の内宮より出し奉りてしづかに入
奉る

△鎮座加持 かしわ手二

退下

年中行事帳

開催日：6月初午の日

午の刻より神事

神楽奉納

神輿渡御（神馬あり） ⇒ 1の休所（麦こがし奉納 神歌：ちはやふるおやすど山のば
らの葉にこがしをもりて奉るなり） ⇒ 国勝神社あいさつ ⇒ 御手洗の浜：お浜降り、茅
輪くぐり ⇒ 2の休所（柳葉餅奉納、神歌：ちはやふるうみの上なるおやすどに柳ばあげて
かみいさめする） ⇒ 宮入り

現在

開催日：令和6年7月24日（水）

午前9時30分 神事

午前10時 神輿へ御霊入れ

午前10時20分 神楽開始

午前11時ころ 直会

午後6時ころ 神輿渡御（神社前の通りを往復）

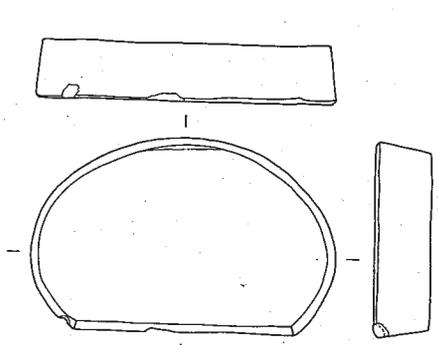
午後8時ころ 宮入り ※令和元年の記録

別冊資料

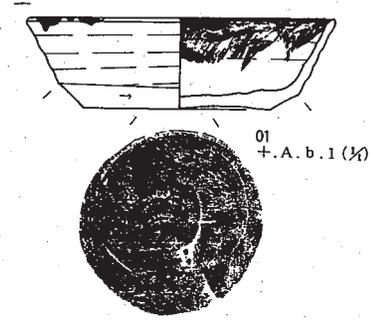
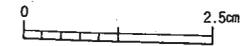
議題（１）

指定文化財候補について

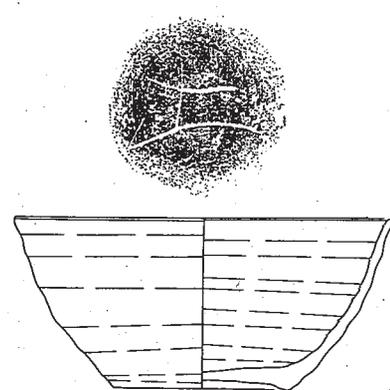
（永吉台遺跡群出土の文字資料群及び
関連資料群）



1. 6号住居-62



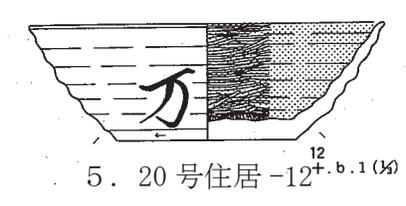
2. 12号住居-1



4. 17号住居-4



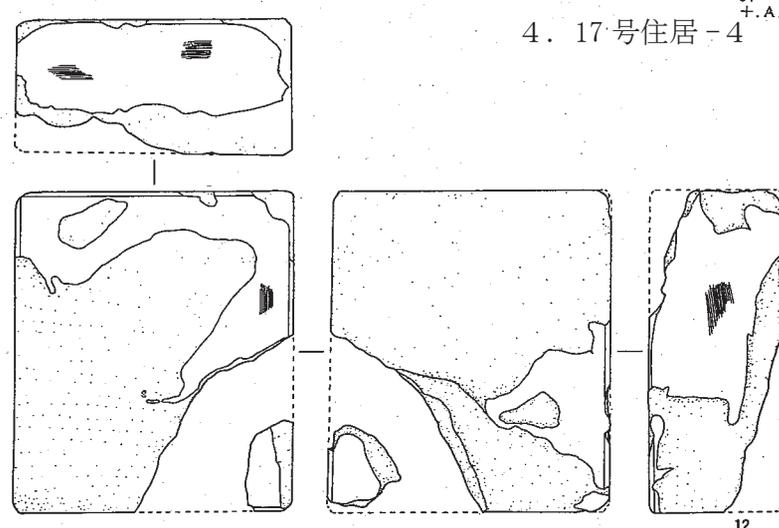
3. 14号住居-1



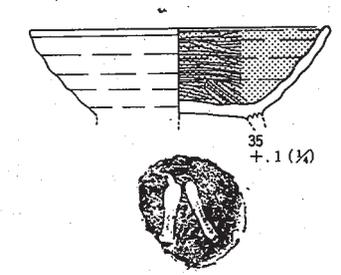
5. 20号住居-12



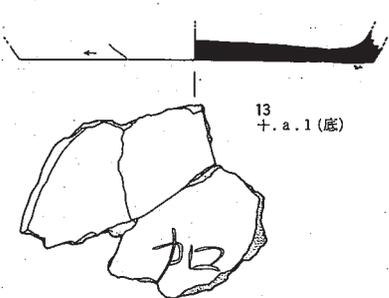
6. 26号住居-1



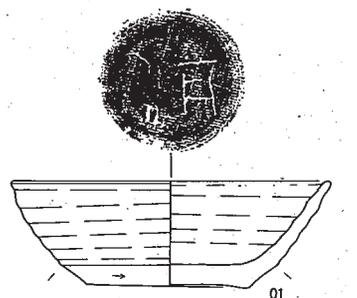
8. 32号住居-12



7. 30号住居-5



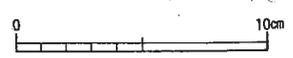
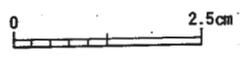
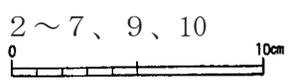
9. 41号住居-13

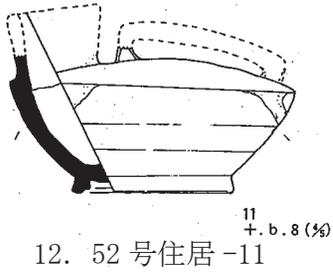


10. 45号住居-1

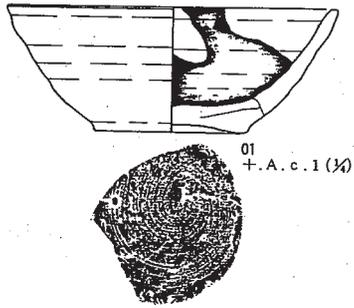


11. 46号住居-44

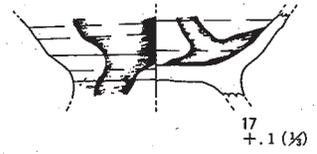




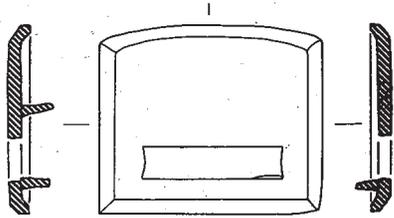
12. 52号住居-11



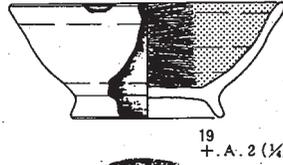
14. 68号住居-1



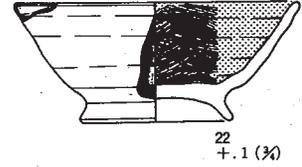
15. 68号住居-17



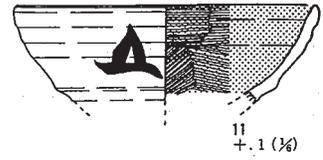
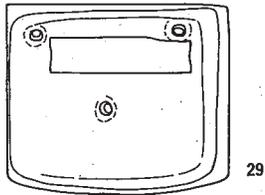
13. 61号住居-29



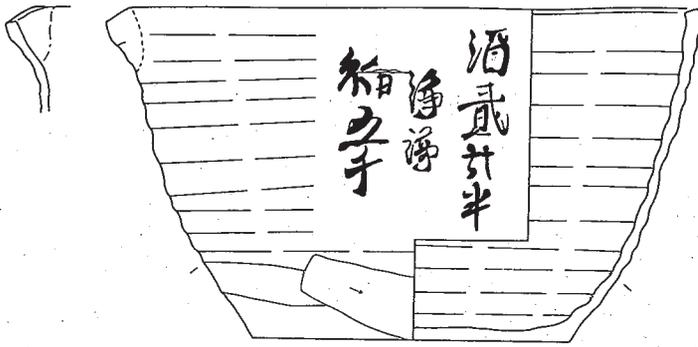
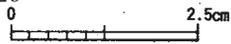
16. 68号住居-19



17. 68号住居-22

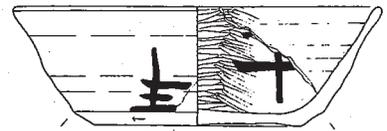


19. 79号住居-11



18. 72号住居-8

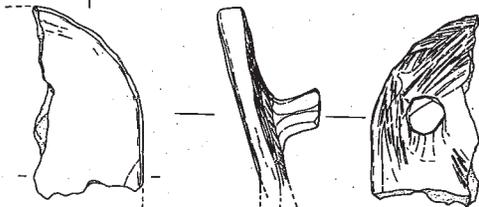
08 + a. 9 (1/2)



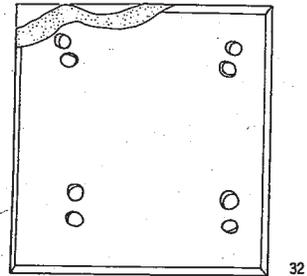
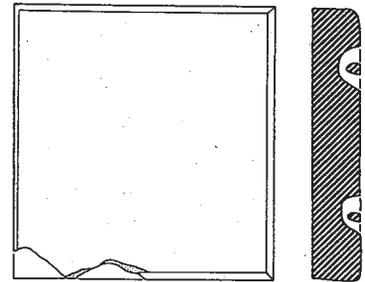
20. 83号住居-4



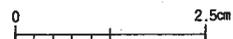
22. 93号住居-5



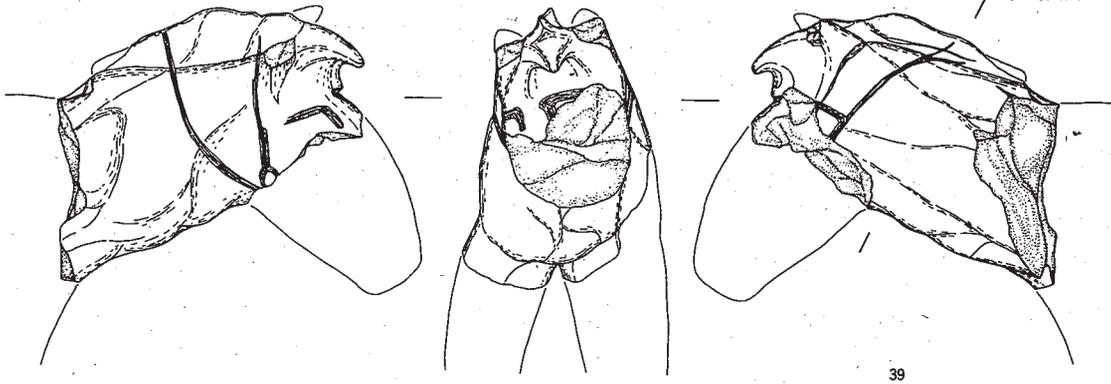
131



32



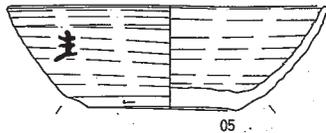
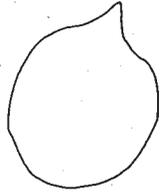
21. 87号住居-32



39

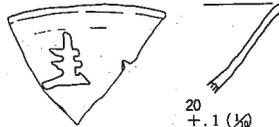


23. 92号住居-39



05
+.b.4 (1/2)

24. 93号住居-5



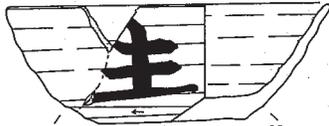
20
+.1 (1/2)

25. 93号住居-20



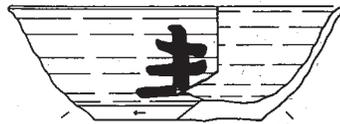
16
+.b.1 (1/2)

26. 94号住居-16



02
+.b.1 (1/2)

27. 98号住居-2



03
+.b.1 (1/2)

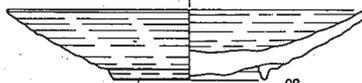
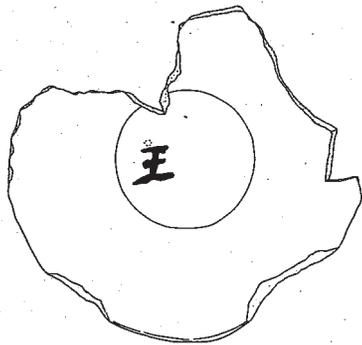
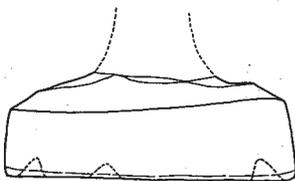
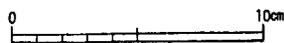
28. 98号住居-3



07
+.A.a.6 (1/2)

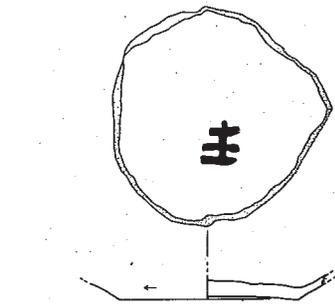
29. 98号住居-7

24 ~ 31, 33, 34



08
+.1 (1/2)

30. 101号住居-8



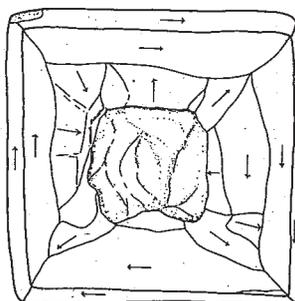
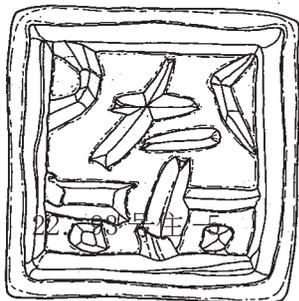
10
+.b.1 (底)

31. 101号住居-10



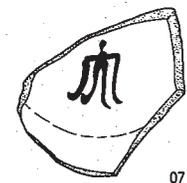
02
+.b.1 (1/2)

33. 109号住居-2



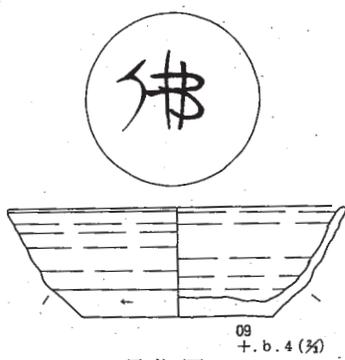
13

32. 106号住居-13

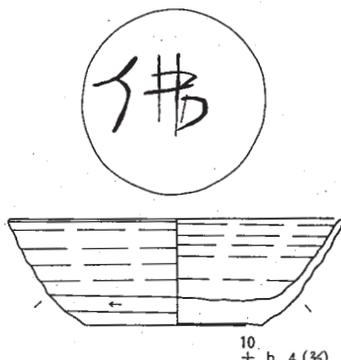


07
+.b.1 (底)

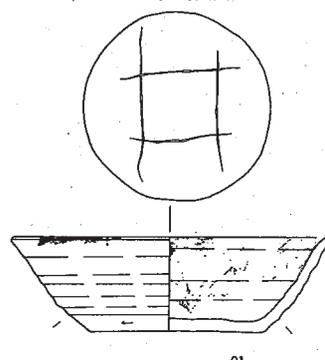
34. 109号住居-7



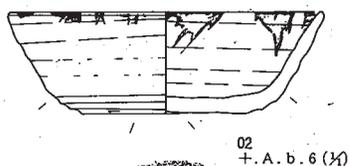
35. 110号住居-9



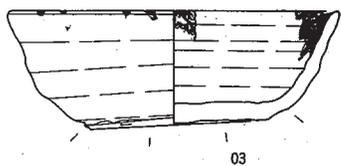
36. 110号住居-10



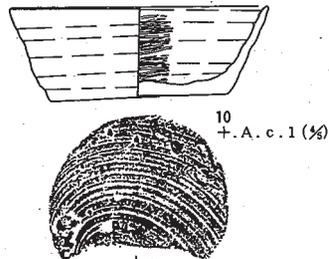
37. 116号住居-1



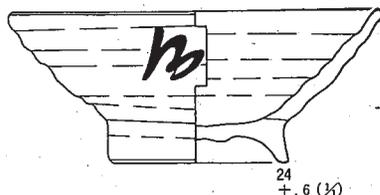
38. 116号住居-2



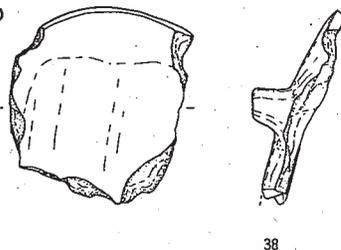
39. 116号住居-3



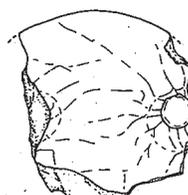
40. 116号住居-10



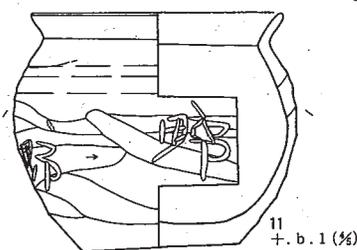
41. 118号住居-24



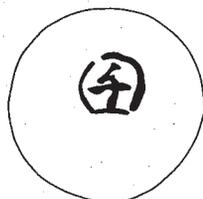
42. 121号住居-38



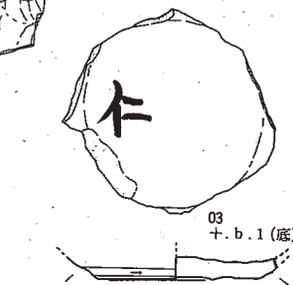
43. 122号住居-11



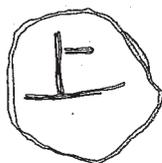
44. 124号住居-12



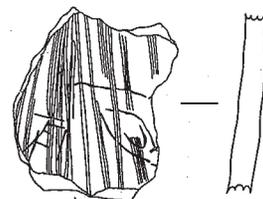
45. 2号建物-1



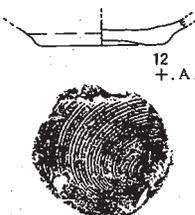
46. 3号建物-3



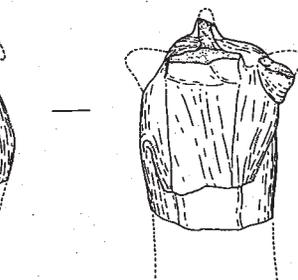
47. 16号土器烧成遺構-6



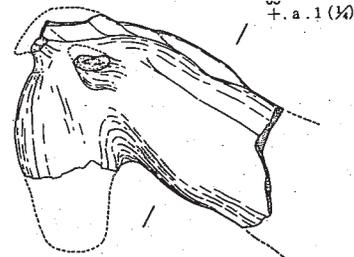
48. 53号土器烧成遺構-21

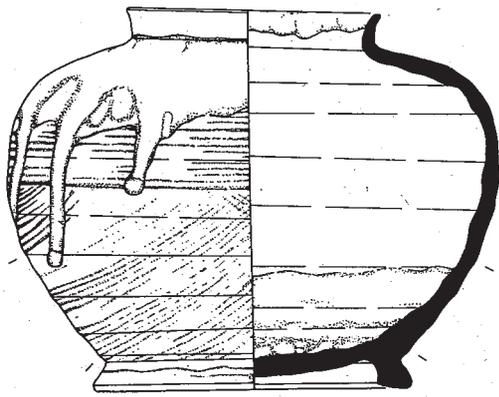


35 ~ 46, 48

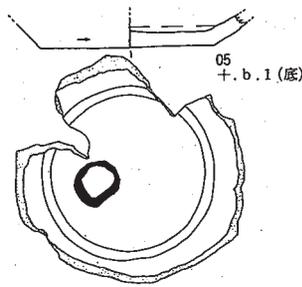


47

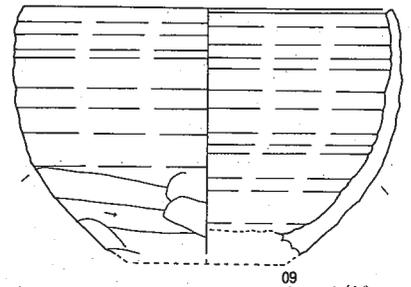




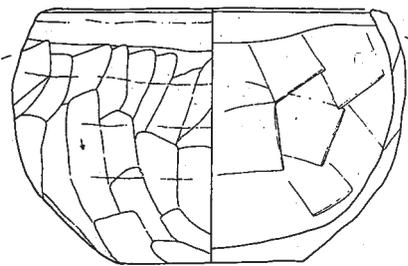
49. 2号住居-27
27
+. b. 7 (3/4)



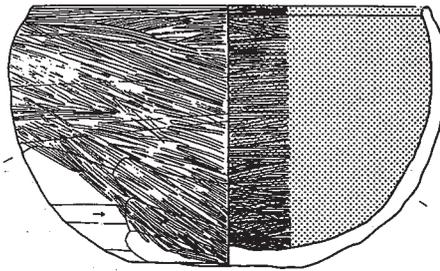
50. 3号住居-5
05
+. b. 1 (底)



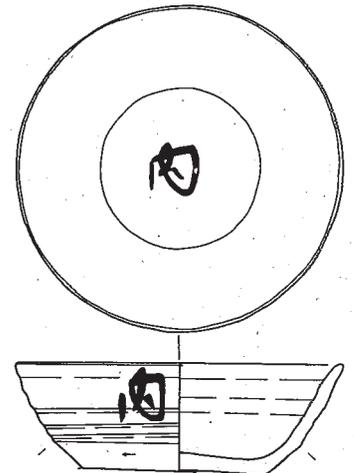
51. 3号住居-9
09
+. a. 2 (3/4)



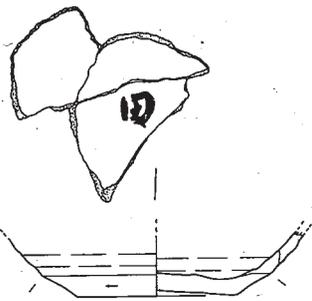
52. 7号住居-6
06
a. 2 (3/4)



53. 7号住居-7
07
+. a. 2 (3/4)



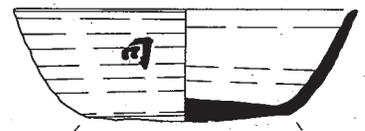
54. 8号住居-11
11
+. b. 2 (3/4)



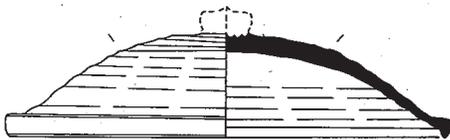
55. 8号住居-14
14
+. b. 4 (3/4)



56. 8号住居-15
15
+. 1 (3/4)



57. 11号住居-1
01
+. a. 1 (3/4)



58. 11号住居-29
29
+. A. b. 8 (3/4)



59. 12号住居-6
06
+. b. 1 (底)



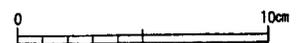
60. 16号住居-14

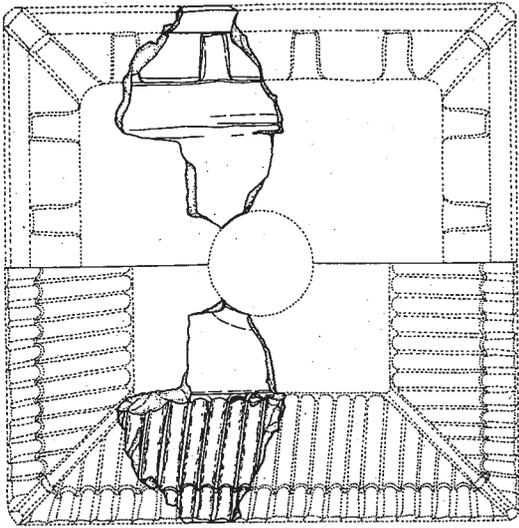


61. 18号住居-2
02
+. a. 2 (3/4)



62. 18号住居-3
03
+. b. 4 (3/4)





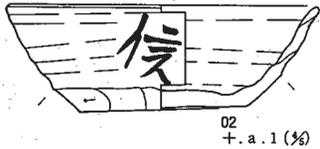
63. 18号住居-17



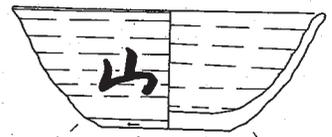
64. 18号住居-18



66. 20号住居-2



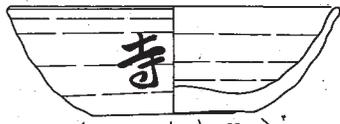
67. 21号住居-2



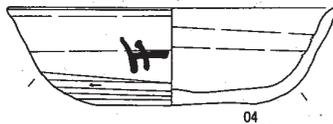
65. 20号住居-1



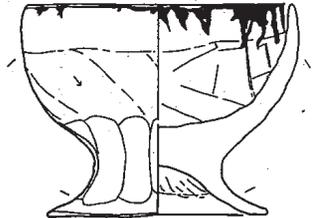
68. 24号住居-2



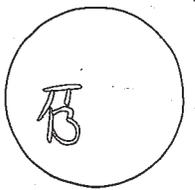
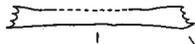
69. 26号住居-3



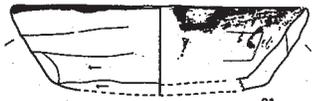
70. 26号住居-4



71. 26号住居-5



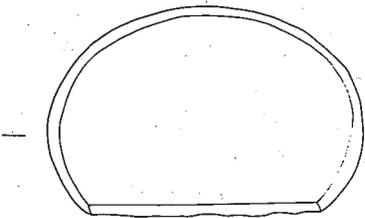
72. 31号住居-5



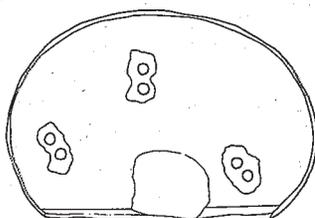
74. 33号住居-1



75. 33号住居-19



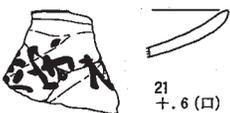
73. 32号住居-20



76. 33号住居-20



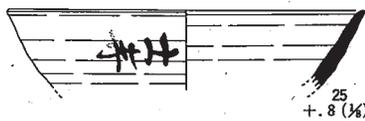
73. 32号住居-20



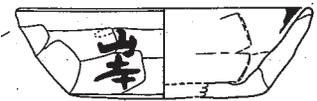
77. 33号住居-21



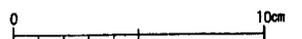
73. 0 2.5cm

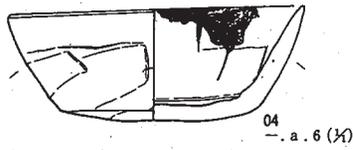


78. 33号住居-25



79. 34号住居-3

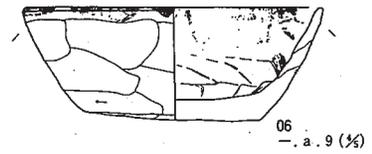




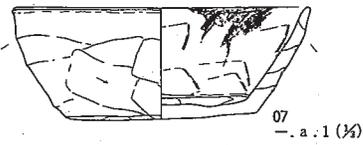
80. 34号住居-4



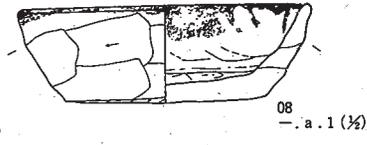
81. 34号住居-5



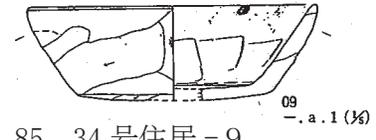
82. 34号住居-6



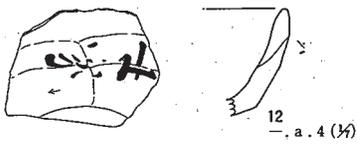
83. 34号住居-7



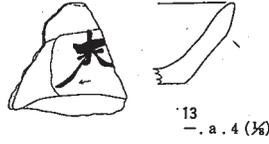
84. 34号住居-8



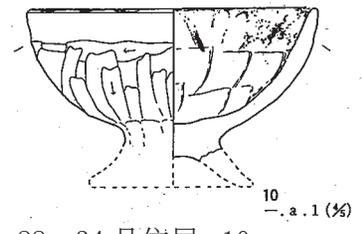
85. 34号住居-9



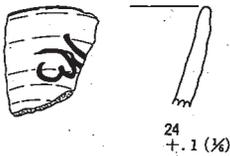
86. 34号住居-12



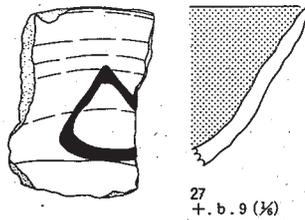
87. 34号住居-13



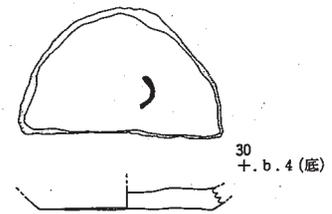
88. 34号住居-10



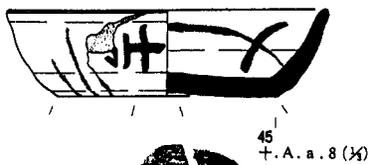
89. 34号住居-24



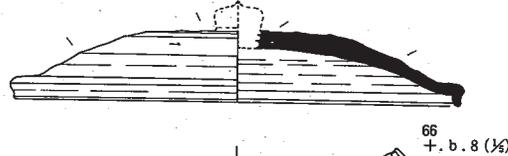
90. 34号住居-27



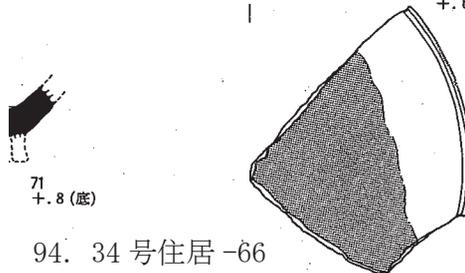
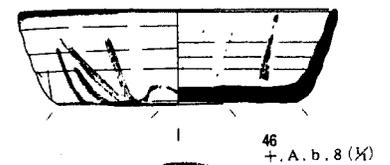
91. 34号住居-30



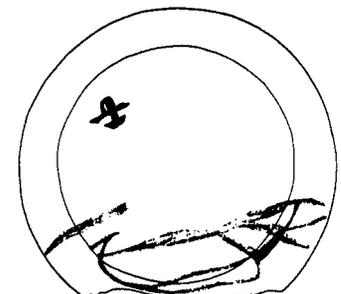
92. 34号住居-45



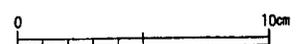
94. 34号住居-66



95. 34号住居-74



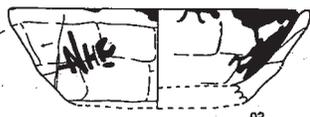
93. 34号住居-46





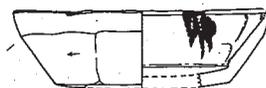
96. 35号住居-2

02
- a. 6 (1/2)



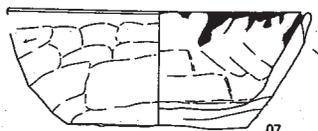
97. 35号住居-3

03
- a. 1 (1/2)



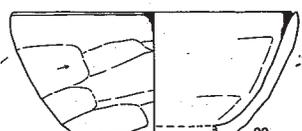
98. 35号住居-4

04
- a. 6 (1/2)



99. 35号住居-7

07
- a. 1 (1/2)



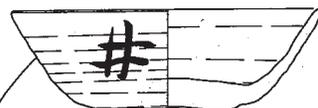
100. 35号住居-8

08
- a. 1 (1/2)



101. 35号住居-13

13
+ a. 1 (胴)



102. 35号住居-16

16
+ A. c. 4 (1/2)



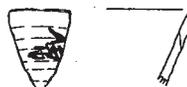
103. 35号住居-20

20
+ . 6 (1/2)



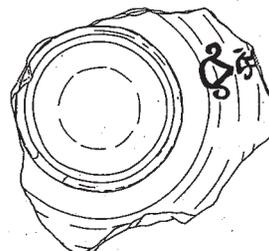
105. 35号住居-27

27
+ . b. 6 (1/2)



104. 35号住居-24

24
+ . 6 (口)



106. 35号住居-39

39
+ A. b. 8 (1/2)



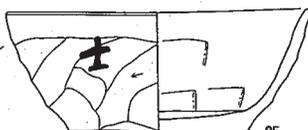
107. 35号住居-45

45
+ . 8 (口)



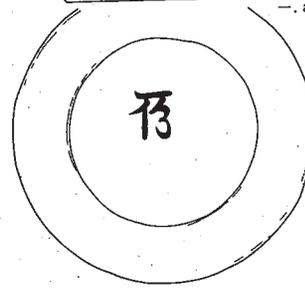
108. 36号住居-4

04
- a. 1 (1/2)



109. 36号住居-5

05
- a. 6 (1/2)



110. 36号住居-6

06
- a. 1 (1/2)



111. 36号住居-12

12
- a. 1 (1/2)

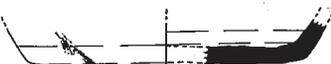


112. 36号住居-13

13
+ . 1 (底)

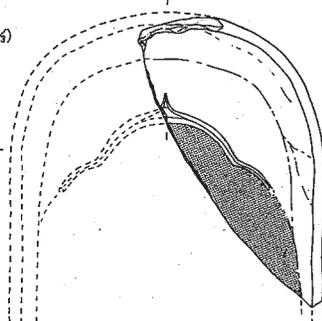


24
+ A. b. 8 (1/2)



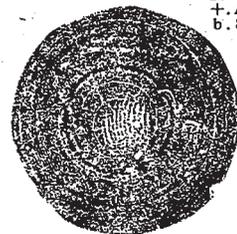
114. 36号住居-30

30
+ A. b. 8 (1/2)

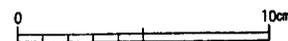
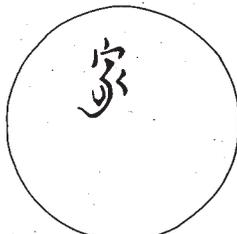


115. 36号住居-37

37
a. 8 (1/2)

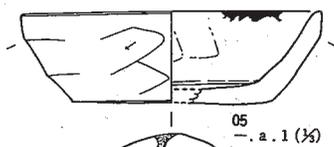


113. 36号住居-24

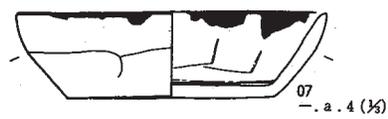




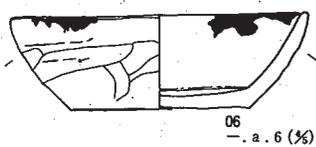
116. 37号住居-1



117. 39号住居-5



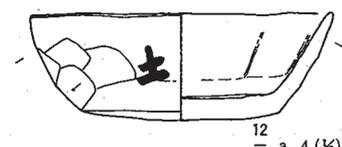
119. 39号住居-7



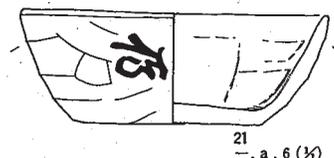
118. 39号住居-6



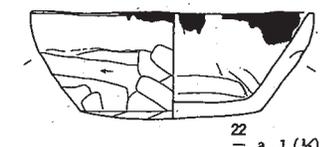
120. 39号住居-8



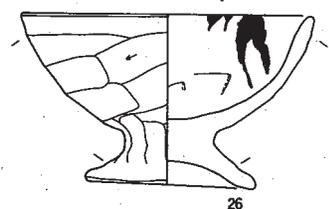
121. 39号住居-12



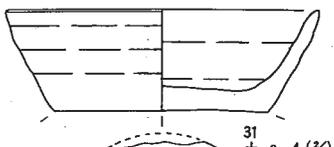
122. 39号住居-21



123. 39号住居-22



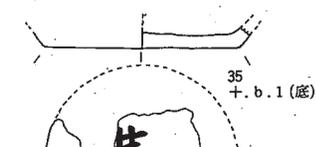
124. 39号住居-26



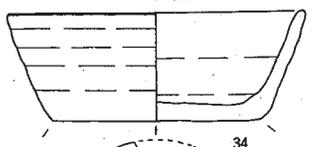
125. 39号住居-31



126. 39号住居-33



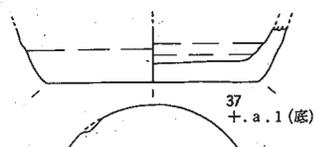
128. 39号住居-35



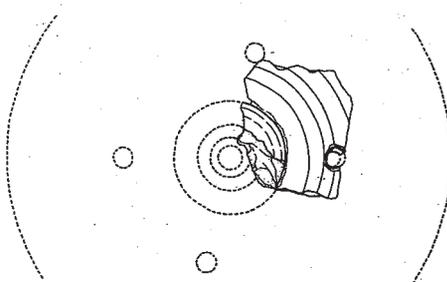
127. 39号住居-34



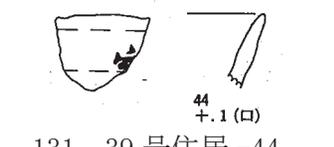
131. 39号住居-44



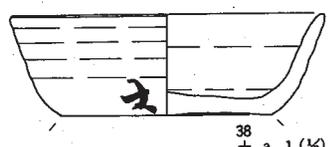
129. 39号住居-37



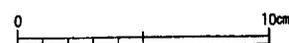
132. 39号住居-49

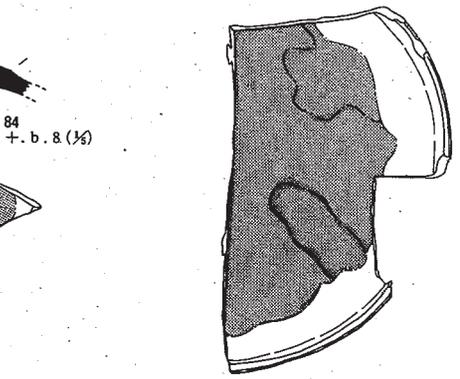
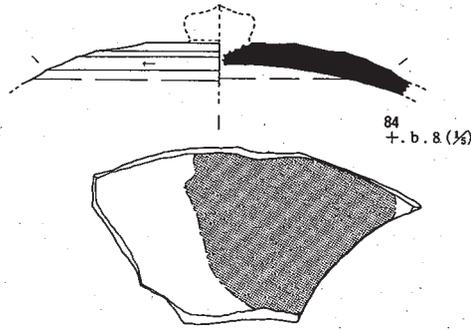
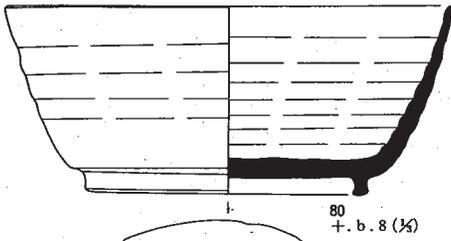


133. 39号住居-63



130. 39号住居-38

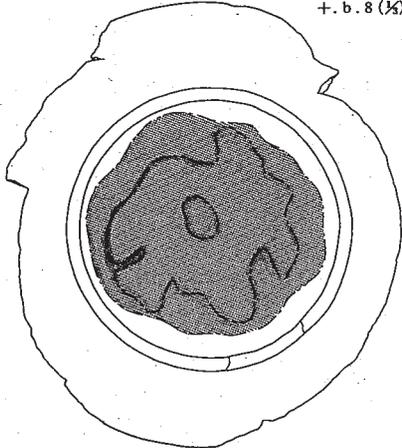




135. 39号住居-84



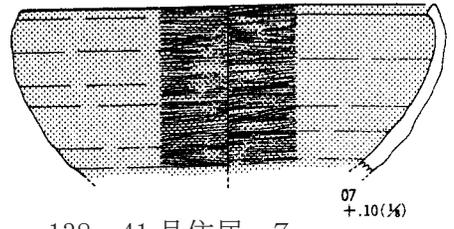
136. 39号住居-88



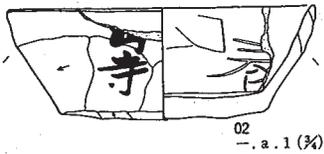
134. 39号住居-80



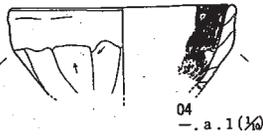
137. 40号住居-4



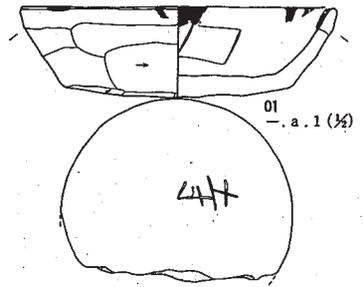
138. 41号住居-7



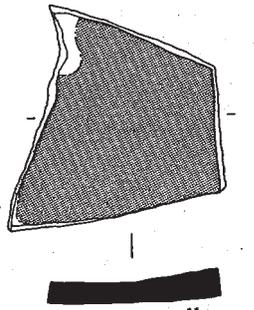
139. 42号住居-2



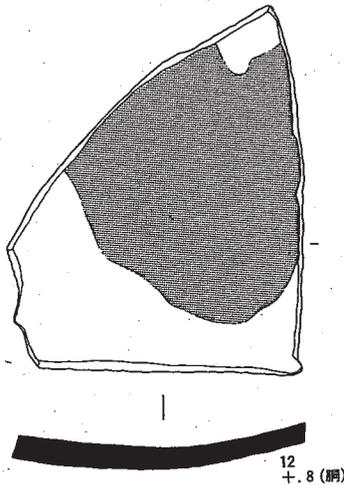
140. 42号住居-4



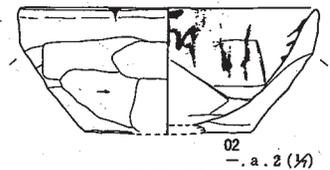
143. 43号住居-1



141. 42号住居-11



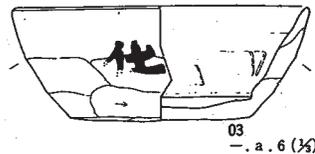
142. 42号住居-12



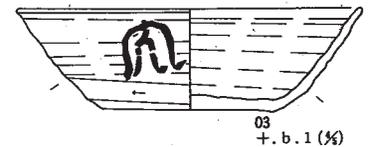
144. 43号住居-2



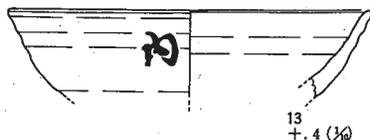
145. 43号住居-15



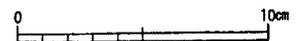
146. 44号住居-3

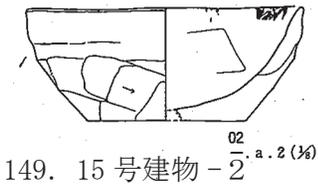


147. 50号住居-3

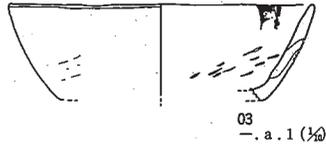


148. 50号住居-13

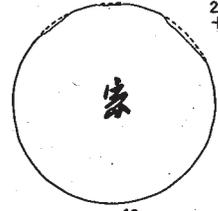




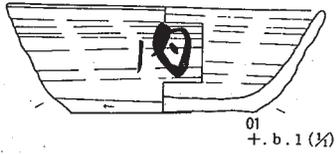
149. 15号建物-2



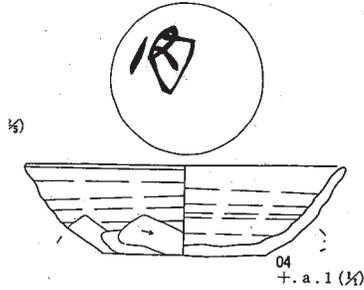
150. 15号建物-3



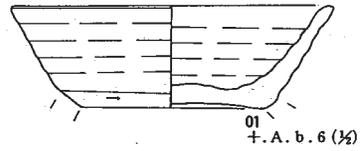
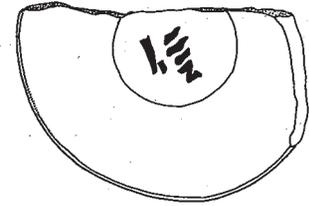
151. 15号建物-22



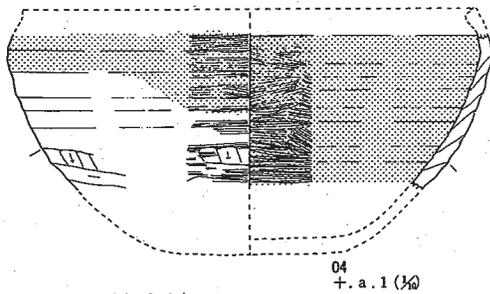
152. 1号土壙-1



153. 1号土壙-4



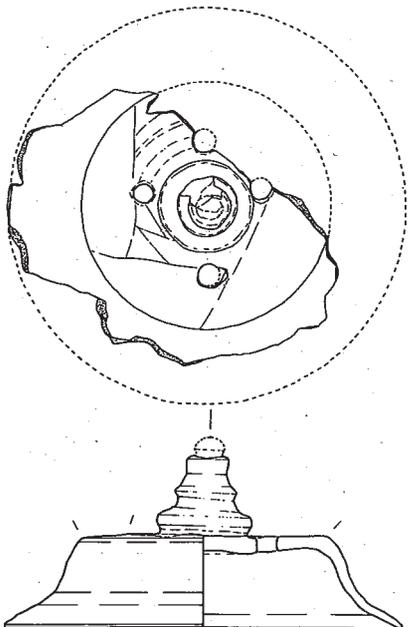
154. 3号土壙-1



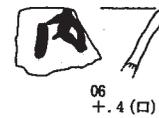
155. 7号土壙-4



157. グリッド出土-4



156. グリッド出土-1



158. グリッド出土-6

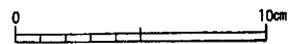


表1 永吉台遺跡群出土の文字資料及び宗教関連資料一覧

地区	No.	出土遺構	遺物番号	時期(遺構)	出土位置	種別	器種	文字	記号	遺存状況	遺存率等	備考
西寺原	1	6号住居	62	10世紀第3四半期	床面	石製品	丸鞆				完形	帯飾り具、止め穴3箇所
	2	12号住居	1	—	竈内	土師器	坏(灯明皿)				完形	体部内面油煙付着
	3	14号住居	1	—	竈内	土師器	坏(墨書土器)	「長」			完形	体部に墨書
	4	17号住居	4	—	覆土中	土師器	坏(ヘラ書)	「土」			4/5	体部に墨書
	5	20号住居	12	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「万」			1/3	体部に墨書
	6	26号住居	1	—	ピット内	土師器	坏(墨書土器)	「主」			1/3	体部に墨書
	7	30号住居	35	10世紀第3四半期	覆土中	土師器	碗(ヘラ書)	「ハ」			1/4	底部にヘラ書
	8	32号住居	12	—	覆土中	石製品	温石?				不明	方形 温石の可能性あり
	9	41号住居	13	—	覆土中	須恵器	甕(ヘラ書)	「加」		底部	不明	底部外面にヘラ書
	10	45号住居	1	—	床面	土師器	坏(ヘラ書)	「日」?			3/4	底部外面にヘラ書
	11	46号住居	44	10世紀第2四半期	竈内	土製品	紡錘車(ヘラ書)	「春夏(秋)冬」			完形	紡錘部表面にヘラ書
	12	52号住居	11	10世紀第2四半期	ピット内	灰釉陶器	平瓶(水滴)				4/5	井ヶ谷78窯式並行期
	13	61号住居	29	—	床面	青銅製品	巡方				完形	帯飾り具、裏面に銚3箇所
	14	68号住居	1	—	床面	土師器	坏(灯明皿)				1/4	口縁部体部内外面油煙付着
	15	68号住居	17	—	床面	土師器	碗(灯明皿)				1/3	体部内外面油煙付着
	16	68号住居	19	—	床面	土師器	碗(灯明皿)				1/4	口縁部体部内外面油煙付着
	17	68号住居	22	—	覆土中	土師器	碗(灯明皿)				3/4	口縁部体部内外面油煙付着
	18	72号住居	8	—	床面	土師器	片口鉢(墨書土器)	「酒貳升半浄淨稻五千」			2/3	体部に墨書
	19	79号住居	11	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)		「△」		碎片	
	20	83号住居	4	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	体部外面に「主」			1/3	体部内面にも墨書有、判読不能
	21	87号住居	32	—	覆土中	石製品	巡方				完形	凝灰岩 方形 裏面止穴4箇所
	22	91号住居	131	10世紀第2四半期	覆土中	土製品	硯			脚部片	碎片	
	23	92号住居	39	10世紀第2四半期	覆土中	土製品	土馬				碎片	頭部
	24	93号住居	5	9世紀第3四半期～9世紀第4四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「主」			4/5	体部に墨書
	25	93号住居	20	—	覆土中	土師器	坏(朱書土器)	「主」			1/10	体部に朱書
	26	94号住居	16	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「人」			1/10	体部に墨書
	27	98号住居	2	9世紀第3四半期～9世紀第4四半期	床面	土師器	坏(墨書土器)	「主」			2/3	体部に墨書
	28	98号住居	3	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「主」			1/3	体部に墨書
	29	98号住居	7	—	床面	土師器	坏(墨書土器)	「内」?			4/5	体部に墨書
	30	101号住居	8	—	竈内	土師器	皿(墨書土器)	「王」(主か?)			4/5	底部内面に墨書
	31	101号住居	10	—	覆土中	土師器	皿(墨書土器)	「主」		底部	碎片	底部内面に墨書
	32	106号住居	13	10世紀第2四半期	覆土中	陶製(土製品)	陶製印			頂部欠損		
	33	109号住居	2	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「西寺」			1/2	体部に墨書
	34	109号住居	7	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	篆書体「天」		底部	碎片	底部内面に墨書
	35	110号住居	9	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「佛」			2/3	底部内面に墨書
	36	110号住居	10	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「佛」			2/3	底部内面に墨書
37	116号住居	1	—	覆土中	土師器	坏(ヘラ記号・灯明皿)		「井」		完形	底部内面にヘラ記号 口縁部内外面体部内面油煙付着	
38	116号住居	2	—	覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部内外面油煙付着	
39	116号住居	3	—	覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部内外面油煙付着	
40	116号住居	10	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「僧」			4/5	底部内面に墨書	
41	118号住居	24	—	覆土中	土師器	碗(墨書土器)	「得」			完形	体部に墨書	
42	121号住居	38	—	覆土中	土製品	硯			脚部片	碎片		
43	122号住居	11	—	床面	土師器	甕(ヘラ書)	「野」			4/5	体部にヘラ書「野」3箇所	
44	124号住居	12	10世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(ヘラ書)	「上」		底部	碎片		
45	2号建物	1	—	P6	土師器	皿(墨書土器)	「千」			3/4	底部外面に墨書、「千」を○で囲む	
46	3号建物	3	—	P6	土師器	坏(墨書土器)	「仁」		底部のみ	碎片	底部内面に墨書	
47	16号土器焼成遺構	6	—	覆土中	土製品	土馬			頭部から頸部	碎片		
48	53号土器焼成遺構	21	—	覆土中	土師器	甕(ヘラ書)	「有」	眉毛と目?	胴部	碎片	胴部にヘラ書	
遠寺原	49	2号住居	27	9世紀第2四半期～9世紀第3四半期	覆土中	灰釉陶器	薬壺			口縁部、胴部一部欠損	2/3	折戸10号窯式並行期
	50	3号住居	5	9世紀第2四半期～9世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)		「○」	底部	不明	底部内面に墨書
	51	3号住居	9	—	覆土中	瓦器	瓦鉢			口縁部～胴部の一部	1/5	ロクロ成形
	52	7号住居	6	9世紀第2四半期～9世紀第3四半期	床面	瓦器	瓦鉢				3/4	非ロクロ成形
	53	7号住居	7	—	床面	瓦器	瓦鉢				完形	ロクロ成形、黒色処理
	54	8号住居	11	9世紀第2四半期～9世紀第3四半期	ピット内	土師器	坏(墨書土器)	「内」			完形	体部外面と底部内面に墨書「内」
	55	8号住居	14	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「田」		口縁部～底部の一部	1/5	底部内面に墨書
	56	8号住居	15	—	床下	土師器	坏(墨書土器)	「酒井」		口縁部の一部	1/10	体部外面に墨書
	57	11号住居	1	9世紀第1四半期～9世紀第2四半期	覆土中	土師器	坏(灯明皿)				4/5	口唇部体部内面油煙付着
	58	11号住居	29	—	床面	土師器	坏(墨書土器)	「田」?		口縁部一部欠損	ほぼ完形	体部外面に墨書
	59	12号住居	6	8世紀第4四半期～9世紀2四半期?	—	土師器	坏(墨書土器)	「主」		底部の一部	碎片	底部内面に墨書
	60	16号住居	14	8世紀第3四半期	覆土中	須恵器	蓋(転用硯)			つまみ部、口縁部の一部欠損	4/5	つまみの貼り付け(欠損)、転用硯
	61	18号住居	2	9世紀第1四半期～9世紀第2四半期	覆土中	土師器	坏(灯明皿)			口縁部～体部の一部	1/6	口縁部油煙付着
	62	18号住居	3	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土寺」		口縁部一部欠損	4/5	体部外面に墨書
	63	18号住居	17	—	床面	土製品	瓦塔			瓦塔屋根部	碎片	

地区	No.	出土遺構	遺物番号	時期(遺構)	出土位置	種別	器種	文字	記号	遺存状況	遺存率等	備考
	64	18号住居	18		床面	土製品	瓦塔			瓦塔屋根部	碎片	
	65	20号住居	1	9世紀第3四半期～9世紀第4四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「山」			2/3	体部外面に墨書
	66	20号住居	2		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「信」			ほぼ完形	体部外面に墨書
	67	21号住居	2	9世紀第4四半期～10世紀第1四半期	ピット内	土師器	坏(墨書土器)	「倭」			4/5	体部外面に墨書
	68	24号住居	2	10世紀第2四半期以降	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「口得」			完形	体部外面に墨書
	69	26号住居	3	8世紀第4四半期～9世紀初頭	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「寺」		口縁部の一部欠損	ほぼ完形	体部外面に墨書
	70	26号住居	4		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			完形	体部外面に墨書
	71	26号住居	5		覆土中	土師器	台付坏(灯明皿)				完形	口縁部油煙付着
	72	31号住居	5	8世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(ヘラ書)	「万得」		底部のみ	碎片	底部外面にヘラ書
	73	32号住居	20	10世紀第2四半期以降	竈内	石製品	丸鞆				完形	帯飾り具、止め穴3(6)箇所
	74	33号住居	1	9世紀第1四半期～9世紀第2四半期	覆土中	土師器	坏(灯明皿)			口縁部～体部	1/6	口縁部内外面 体部外面油煙付着
	75	33号住居	19		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「田寺」?		体部	碎片	体部外面に墨書
	76	33号住居	20		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「井●」		口縁部	碎片	口縁部外面に墨書
	77	33号住居	21		壁溝内	土師器	皿(墨書土器)	「●宋●」		口縁部	碎片	口縁部外面に墨書
	78	33号住居	25		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「土(土?)寺」		口縁部～体部	1/8	体部外面に墨書
	79	34号住居	3	8世紀第4四半期～9世紀初頭	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「山寺」			1/5	体部外面に墨書
	80	34号住居	4		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部油煙付着
	81	34号住居	5		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部油煙付着
	82	34号住居	6		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				4/5	口縁部油煙付着
	83	34号住居	7		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/3	口縁部油煙付着
	84	34号住居	8		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/2	口縁部油煙付着
	85	34号住居	9		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/5	口縁部油煙付着
	86	34号住居	10		床面	土師器	台付坏(灯明皿)				1/7	口縁部油煙付着
	87	34号住居	12		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土家」			1/7	体部外面に墨書
	88	34号住居	13		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「家」			1/8	体部外面に墨書
	89	34号住居	24		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「万得」			1/6	体部外面に墨書
	90	34号住居	27		覆土中	土師器	碗(墨書土器)		「△」		1/6	体部外面に墨書
	91	34号住居	30		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「ノ」?			碎片	底部内面に墨書
	92	34号住居	45		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「土●」			1/3	底部内面に墨書
	93	34号住居	46		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「土」			碎片	体部外面に墨書
	94	34号住居	66		床面	須恵器	蓋(転用硯)				1/5	転用硯
	95	34号住居	74		床面	須恵器	甕(転用硯)				碎片	転用硯
	96	35号住居	2	8世紀第4四半期～9世紀2四半期?	覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/5	口縁部油煙付着
	97	35号住居	3		覆土中	土師器	坏(墨書土器・灯明皿)	「●寺」●は山か?			1/7	体部外面に墨書 口縁部油煙付着
	98	35号住居	4		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/6	口縁部油煙付着
	99	35号住居	7		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/6	口縁部油煙付着
	100	35号住居	8		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				4/5	口縁部油煙付着
	101	35号住居	13		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「大」			碎片	体部外面に墨書
	102	35号住居	16		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「井、土」			碎片	体部外面に墨書
	103	35号住居	20		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/7	口縁部油煙付着
	104	35号住居	24		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「僧」			碎片	体部外面に墨書
	105	35号住居	27		覆土中	土師器	皿(墨書土器)	○3つ			1/4	体部外面に墨書
	106	35号住居	39		覆土中	須恵器	坏(灯明皿)				1/3	口縁部体部内外面油煙付着
	107	35号住居	45		床面	須恵器	坏(墨書土器)	「家」?			碎片	体部外面に墨書
	108	36号住居	4	8世紀第4四半期～9世紀初頭	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「万得」			完形	底部外面に墨書
	109	36号住居	5		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			1/3	体部外面に墨書
	110	36号住居	6		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/3	口唇部体部内外面油煙付着
	111	36号住居	12		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			1/8	体部外面に墨書
	112	36号住居	13		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土家」			碎片	底部に墨書
	113	36号住居	24		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「家」		口縁部一部欠損	ほぼ完形	底部外面に墨書
	114	36号住居	30		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「西」			不明	底部外面に墨書
	115	36号住居	37		覆土中	土製品	硯				1/5	風字硯
	116	37号住居	1	—	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「万富」?			2/3	体部外面に墨書
	117	39号住居	5	8世紀第4四半期～9世紀初頭	覆土中	土師器	坏(墨書土器・灯明皿)	「土●」●は家か?			1/3	体部外面に墨書 口縁部体部内外面油煙付着
	118	39号住居	6		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				4/5	口縁部体部内外面油煙付着
	119	39号住居	7		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/3	口縁部体部内外面油煙付着
	120	39号住居	8		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/3	口縁部体部内外面油煙付着
	121	39号住居	12		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			1/3	体部外面に墨書
	122	39号住居	21		覆土中	土師器	皿(墨書土器)	「万得」		口縁部一部欠損	ほぼ完形	底部外面に墨書
	123	39号住居	22		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				完形	口縁部体部内外面油煙付着
	124	39号住居	26		覆土中	土師器	台付坏(灯明皿)				4/5	内面油煙付着
	125	39号住居	31		竈内	土師器	坏(墨書土器)	「土家」			2/3	底部外面に墨書
	126	39号住居	33		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土家」			2/3	底部外面に墨書

地区	No.	出土遺構	遺物番号	時期(遺構)	出土位置	種別	器種	文字	記号	遺存状況	遺存率等	備考
	127	39号住居	34		竈内	土師器	坏(墨書土器)	「丁」			1/3	底部外面に墨書
	128	39号住居	35		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「井」			不明	底部外面に墨書
	129	39号住居	37		竈内	土師器	坏(墨書土器)	「家」			不明	底部外面に墨書
	130	39号住居	38		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「土」			1/3	体部外面に墨書
	131	39号住居	44		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	判読不能「家」?			碎片	体部外面に墨書
	132	39号住居	49		覆土中	土師器	香炉蓋				1/10	孔1力所
	133	39号住居	63		覆土中	須恵器	坏(墨書土器)	「家土」			1/2	体部外面に墨書
	134	39号住居	80		覆土中	須恵器	碗(転用硯)				1/3	転用硯
	135	39号住居	84		覆土中	須恵器	蓋(転用硯)				1/5	転用硯
	136	39号住居	88		覆土中	須恵器	皿(転用硯)				1/3	転用硯
	137	40号住居	4	9世紀第3四半期~9世紀第4四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「井」			2/3	底部外面に墨書
	138	41号住居	7	9世紀第1四半期~9世紀第2四半期	覆土中	土師器	鉢				1/8	鉄鉢形、内外面黒色処理
	139	42号住居	2	8世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「●寺」●は西か?			3/4	体部外面に墨書
	140	42号住居	4		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/10	口縁~体部内面油煙付着
	141	42号住居	11		覆土中	須恵器	蓋(転用硯)				碎片	転用硯
	142	42号住居	12		覆土中	須恵器	甕(転用硯)				碎片	転用硯
	143	43号住居	1	9世紀第1四半期~9世紀第2四半期	覆土中	土師器	坏(へら書・灯明皿)	「寺」			1/2	底部外面にへら書 口縁部体部内外面油煙付着
	144	43号住居	2		覆土中	土師器	坏(灯明皿)				1/7	口縁部体部内外面油煙付着
	145	43号住居	15		覆土中	土師器	皿(灯明皿)				3/4	口縁部外面油煙付着
	146	44号住居	3	8世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「仕」			1/3	体部外面に墨書
	147	50号住居	3	9世紀第2四半期~9世紀第3四半期	覆土中	土師器	坏(墨書土器)	篆書体「天」			4/5	体部外面に墨書
	148	50号住居	13		覆土中	土師器	坏(墨書土器)	「内」			1/10	体部外面に墨書
	149	15号建物	2	—	P4	土師器	坏(灯明皿)				1/8	口縁部内面油煙付着
	150	15号建物	3		P1	土師器	坏(灯明皿)				1/10	口縁部内面油煙付着
	151	15号建物	22		P4	須恵器	坏(墨書土器)	「家」			不明	底部外面に墨書
	152	1号土壇	1	—	—	土師器	坏(墨書土器)	「内」			完形	体部外面に墨書
	153	1号土壇	4		—	土師器	坏(墨書土器)	「内」			ほぼ完形	底部外面に墨書
	154	3号土壇	1	—	—	土師器	坏(墨書土器)	「信」			1/2	底部内面に墨書
	155	7号土壇	4	—	—	土師器	鉢				1/10	黒色処理
	156	グリッド出土	1	—	—	土師器	香炉蓋			つまみ部遺存	3/5	孔4力所
	157	グリッド出土	4		—	土師器	碗(墨書土器)		「〇〇」		不明	体部外面に墨書
	158	グリッド出土	6		—	土師器	器種不明(墨書土器)	「内」			碎片	口縁部に墨書

永吉台遺跡群の学史的意義について

永吉台遺跡群は1982(昭和57)～1984(昭和59)年にかけて発掘調査が実施され、旧石器、縄文、奈良・平安、中・近世の遺構・遺物が発見された。特に平安時代の内容が豊富で、遠寺原地区からは四面廂付建物を中心とする掘立柱建物群が発見され、一方西寺原地区では10世紀代の土師器焼成遺構が見つまっている。また、両地区から多量の墨書土器や信仰に関わる遺物が出土した。

本遺跡群の発掘調査報告書は1985(昭和60)年に刊行されたが、同年、須田勉氏により、「平安初期における村落内寺院の存在形態」が発表され、永吉台遺跡群の調査成果も踏まえ、それまでの千葉県内の発掘調査成果に基づき、9世紀代の村落内で営まれた寺院について、「村落内寺院」という名称を初めて提示して分析を試みた。本論文には、永吉台遺跡群発掘調査時の現地説明会資料が参考文献に掲載されるとともに、永吉台遺跡群の報告書刊行と同年に発表されていることから、永吉台遺跡群の調査成果が大きく影響しているものと考えられる。

なお、それまでの古代仏教や寺院に関する研究は、初期寺院、国分寺、半官半私 of 定額寺クラスの、ある程度伽藍を備えた寺院を対象に行われてきたが、永吉台遺跡群も含めた房総から発見される四面廂付建物や数多くの仏教関連遺物は、考古学的な証拠により、9世紀代の在地に入り込んだ仏教について焦点を当てることを可能にしたことには大きな意義がある。

さらに、1990(平成2)年に、千葉県立房総風土記の丘で、シンポジウム「平安前期の村落とその仏教」が開催され、千葉県で顕著に認められる9世紀代の「村落内寺院」に焦点を当てて検討が行われた。

これらの成果を受け、1994(平成6)年に、笹生衛氏が「古代仏教信仰の一側面－房総における8・9世紀の事例を中心に－」を発表し、四面廂付建物をはじめとする仏堂と思われる建物の分類を行うとともに、仏堂等建物の構成状況、立地遺跡の存続年代及び性格の2つの点から仏堂等が立地する遺跡の類型化を行った。分析の結果、仏堂・仏教施設については、四面廂付建物→方形・内陣建物→側柱建物→仏堂なし、という階層が認められ、それぞれ、山林寺院→村寺→村堂→修行場、の性格を推定した。本論文は、これ以降発表される、「村落内寺院」に関わる論文やシンポジウム、展覧会などにおいて必ず参考文献とされるものである。

以上のことから、永吉台遺跡群は、8世紀後半から9世紀代、地域における仏教受容の実態を知るうえで重要な遺跡であり、その出土遺物とともに日本の宗教史を語るうえで欠くことのできない資料である。

参考文献

須田 勉 1985「平安初期における村落内寺院の存在形態」『古代探叢Ⅱ』早稲田大学出版部

千葉県立房総風土記の丘 1991「シンポジウム平安前期の村落とその仏教<記録集>」『千葉県立房総風土記の丘年報14』

笹生 衛 1994「古代仏教信仰の一側面－8・9世紀の事例を中心に－」『古代文化46』財団法人古代学協会